

桑野造船株式会社 〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL:077-573-8001 FAX:077-573-8002  
 URL: <http://www.k-boat.co.jp> E-mail: [kuwano@k-boat.co.jp](mailto:kuwano@k-boat.co.jp)

先日のワールドカップの男子軽量1xで武田選手が金、同じく2xで武田・須田ペアが銀メダルの快挙の報に歡喜しました。この勢いで世界選手権では好成績につなげて欲しいのは人情ですがこのレベルになれば勝つも負けるのも紙一重です。私たちは暖かく見守ることでいかがでしょうか。折角の世界選手権です、勝負だけではなくFISA(国際ボート連盟)が新しい時代のローイングを念頭に主導する大会運営ぶりをインターハイや国体と比較しながらながめていただければ意外な発見が必ずあると思います。【古川】

## 桑野造船 会社目標

未来に向かって進化

- お客様にとって役に立つ桑野になるために -
- \* ヨーロッパ艇を超える(性能・デザイン・価格)
- \* 新分野へ挑戦(新技術開発・ニューローイング開拓)
- \* 情報の共有(顧客との共有・社内共有で失敗に学ぶ)

## 世界選手権に桑野ブース設置！ 【黄瀬】

アジア初開催となる世界選手権まで、あと一ヶ月となりました。8月に入れば、各国選手団が続々と日本に集まってきます。桑野造船は、会場で艇のメンテナンスなどを行うほか、事前合宿地～長良川間の艇運搬など、幅広い選手サポートを行っていきます。会場ブースには、スタッフとしてボート設計の世界第一人者・Klausさん(独)、プリプレグ艇製作の専門家・Davidさん、Hofmeisterさん(米)を呼ぶなど15名の多彩な顔ぶれで日本のKUWANOをアピールしていきます。私自身も7月に入社して、初めての大事な仕事です。不安もありますが、英語に臆することなく精一杯がんばりたいと思います。ぜひ、会場でお会いしましょう！

## インターハイ、国体の使用艇案内 【森】

新規格艇になり3年目の大会を迎え、選手の皆さんもかなり慣れてこられたと思います。改めて確認のために要点を挙げてみます。

- \* 使用される桑野艇 … <千葉インターハイ> 2xを除く全艇 <岡山国体> 男子1xを除く全艇(昨年度埼玉国体と同一艇)
- \* バックステーのクラッチ軸側穴径について ・千葉インターハイ:主催者指定により全艇10mmに統一されています。  
・岡山国体:4+(成年男子)のみ10mm、その他は全艇8mmとなっています。

\* 艇ご使用時の注意点 ・特にストレッチャー廻りのプラスチック部品について、プライヤー、スパナなどで過度の締め付けを行った場合、部品の破損につながる可能性があります。適度な締め付けでご使用下さいませようお願いします。

\* 新規格艇初年度にご要望が多かったフォア艇(4+及び4+x)の舵については、昨年度より舵面積を拡大し、操舵機能を大きくしています。その他参加者に必要な艇緒元値は主催者にお問い合わせいただくか、弊社まで…。大会中、会場には弊社技術員が待機していますので何なりとご相談ください。



## 艇のバランスを崩す要素 【古川】

	要素	内容	対策
艇の構造、リギングに起因するもの	艇のモールド型状	艇型により、重心と浮心の関係で復元力が変化する。	規格艇は幅広型を採用して、よりバランス性能を向上させている。初心者用ボートはさらに幅広にする。
	漕手の重心高さ	シート高さ等により、漕手の重心が高い場合はバランスは難しい。	漕手の重心が低いほどバランスは良くなる。
	艇の剛性	ストローク中にかかった力でリガーや艇が撓み、カバー角やハイトが変化する。	艇の剛性が高いほどバランスも効率も向上する。
漕手の技術に起因するもの	ブレードワーク	ブレードの水中角度不適正。左右サイドのタイミングのズレ。フォワード中のハンドル高さ変化。	左右及び漕手間で漕法を合わせる。ハンドルの上下動を少なくする。
	体重が艇の中心にない	体が傾いたり、不規則な動きがある。クルー間で不統一な動きがある。	艇中心を動く。体を傾けてバランスをとるのは問題を拡大する。
	COXの座り方	COXが艇と一体化していない。	艇とCOXを一体化して、慣性モーメントを増やすことで安定度を増す。
	操舵の不適正	操舵により艇は方向転換と同時に傾く。	操舵のタイミングと操作量を適切に行う。
コースコンディションに起因するもの	横風、水流	風圧による傾き。風が原因の蛇行による艇の修正操作による傾き。	技量にあった水域の選択を行う。
	うねり、波	長周期で、かつ横方向からの波により艇は傾く。	COXの重心移動で多少の効果はあるが、抜本的対策はない。

BOAT TIMESの配信停止をご希望される方は、お手数ですがFAX(077-573-8002)又はE-Mail([kuwano@k-boat.co.jp](mailto:kuwano@k-boat.co.jp))で当社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート関係者へお渡しをお願いいたします。